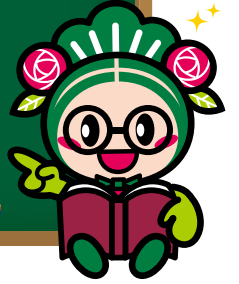


マッキーの防災教室

最終回 「大切な命を守るために暮らしの中でできること」

皆さんこんにちは。今年も残り1カ月となりました。今年は、本当にたくさんの災害が、日本中で発生し、自然災害の恐ろしさを痛感した一年だったのではないのでしょうか。災害から大切な命を守るために何を始めればいいのか？そうやって考えることが防災の第一歩です。今回は、最終回です。いつもの暮らしの中でできる防災をテーマにマッキーと一緒に勉強しましょう。



今すぐできる暮らしの中の防災って？

少しの工夫でできることはいっぱいあるぞっ！

普段通行する道路を確認する

普段何気なく、通っている道にも危険はたくさんあります。地震発生時に、転倒・落下の危険があるものがどこにあるのか確認しておきます。また、建物内では、非常口や避難経路について必ず確認するようにしましょう。

- 散歩のコースに避難所となる小中学校を取り入れてみましょう。

買い物で「日常備蓄」を行う

普段使用している物や食料品を少し多めに買い揃えて、無くなる前に買い足すことで、災害時の備蓄になります。

- 1週間分（最低3日分）の生活を目安に買い足していきましょう。

寝室の安全を確認する

寝ているときは無防備です。本棚や、タンスなどが倒れた場合、下敷きにならないか、出入り口を塞がないかなど、いつもの場所に寝転んで部屋の中にある危険について考えましょう。

- 年末の大掃除の際に、家具、家電の固定を行うなど、ちょっとした意識で防災対策を始めましょう。

情報収集の手段を確認しておく

災害情報入手できる登録制のメールに登録したり、テレビやラジオ、インターネットなどで普段から気象について確認する習慣をつけましょう。

- インターネットが利用できない場合でも、テレビのdボタンを使用すれば地域の災害情報や、避難所開設について確認できます。
- 離れて暮らす家族や友人に、災害の情報を送ってもらうなど決めておきましょう。
- 災害時に放送される屋外防災行政無線の内容は電話でも確認できます。『防災行政無線テレホンサービス』
☎050-5533-8179（通話料金がかかります）

家族や、友人、地域とコミュニケーションを図る

- いざという時の、連絡手段や、集合場所について家族や友人と具体的に決めておきましょう。
- いざという時に頼りになるのはご近所です。日頃から、挨拶をして顔見知りになりましょう。
- 遠方に住んでいる親族や、友人と普段から連絡を取っておきましょう。
- 地域のイベントや、防災訓練、趣味のサークルにも積極的に参加しましょう。

1年間みんなと一緒に勉強してきた「マッキーの防災教室」どうやった？災害に備えてやらなあかんこと分かったやんなあ。大切なのは、自分で自分を守る『自助』、みんなで助け合う『共助』やでっ！

今年はたくさんの災害が起こったけど、今後発生するといわれている南海トラフ地震や、上町断層帯地震にもみんなであらためて、大切な命を守っていきなっ！

災害は必ず発生するっていう危機感を持つこと、災害が発生した時のことを想像することが防災の第一歩やでっ。自分の住んでる街のこと、避難所の場所、災害への備えについてもう一度しっかり確認しといてなっ！

罹災証明書・被災証明書の発行について（必要な人はお急ぎください）

【問】危機管理課

平成30年9月4日の台風第21号で家屋等に被害を受けられた人に、罹災証明書・被災証明書の発行をしております。保険会社への提出や確定申告における雑損控除の申請で罹災証明書・被災証明書が必要となる場合があります。必要な人は、市役所4階危

機管理課にて申請受付を行っていますので、お急ぎください。

【申請に必要なもの】

- ①被害にあった場所の写真※返却はできません
- ②印鑑③身分証明書（免許証など身分の証明となるもの）